

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（女川原子力発電所2号炉工事計画）（48）
2. 日 時：令和3年1月15日 10時00分～12時00分  
13時30分～17時40分
3. 場 所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

天野安全管理調査官※、止野上席安全審査官※、三浦上席安全審査官※、  
植木主任安全審査官、片桐主任安全審査官※、藤原主任安全審査官、  
皆川主任安全審査官、宮本主任安全審査官、小野安全審査専門職、  
土居安全審査専門職、服部安全審査専門職、杉原技術参与、  
山浦技術参与※、西澤原子力規制専門員

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

堀野技術参与

東北電力株式会社：

原子力本部 土木建築部 副部長、他4名

原子力本部 原子力部 部長、他11名※

## 5. 要 旨

- (1) 東北電力株式会社から、女川原子力発電所2号炉の工事計画補正申請のうち、「地盤の支持性能」、「地下水位低下設備」、「原子炉本体の耐震性」及び「使用済燃料貯蔵ラックの耐震性」について、提出資料に基づき説明があった。

- (2) これに対し、原子力規制庁は以下の点について指摘等を行うとともに、今後、説明内容について引き続き確認することとした。

【女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（地盤支持性能）】

- 地下水位低下設備に係る基本設計方針について、可搬型ポンプ等の記載範囲が明確に示されていないため、再度整理して説明すること。
- 設置変更許可申請における説明内容との変更点について、全ての項目の相違理由も含めて、明確かつ網羅的に示されていないため、再度整理して説明すること。
- 可搬型ポンプを自主設備とした考え方、並びに規制上及び申請上の位置付けについて、整理して説明すること。
- 地下水位の設定における動的機器の単一故障の位置付けについて、各エリアの同時機能喪失の考え方も含めて、改めて整理して説明すること。

【VI-2-1-1-別添1 地下水位低下設備の設計方針】

- 可搬型ポンプの配備数の妥当性について、考慮すべき要因及び考え方を整理して説明すること。

【地下水位低下設備に係る設置変更許可申請書との比較表】

- 地下水位低下設備の運用管理・保守管理について、保安規定への反映方法等も含め、考え方を整理して説明すること。

【VI-2-3-2 炉心、原子炉圧力容器及び原子炉内部構造物並びに原子炉格納容器及び原子炉本体の基礎の地震応答計算書】

- 地震応答解析モデルについて、建設工認時の解析モデルから変更している場合には、変更内容を整理して提示すること。
- 鉛直方向地震応答解析モデルにおいて、所員用エアロック、ベント管等の鉛直方向バネ反力の取扱いを整理して提示すること。
- 解析に用いる建屋の物性値について、原子炉建屋のポアソン比を 0.2 とした場合の建屋－機器連成解析への影響を整理して提示すること。

【補足-600-13 使用済燃料貯蔵ラックの減衰定数について】

- 使用済燃料貯蔵ラックの減衰定数について、基準地震動  $S_s$  では 10% を採用するとしているが、設置変更許可時の減衰定数の設定の考え方との関係を整理して提示すること。
- 加振試験範囲を超える応答加速度での減衰定数の設定の考え方を整理して提示すること。

(3) 東北電力株式会社から、(2) について了解した旨の回答があった。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「新型コロナウイルス感染症対策に係る原子力規制委員会の対応の一部変更について」(令和2年6月24日 第12回原子力規制委員会配付資料)に基づき、一部対面で実施した。

## 6. その他

提出資料：

- (1) 女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表(地盤支持性能)(O2-他-F-19-0001\_改3)(令和3年1月13日提出資料)
- (2) VI-2-1-3 地盤の支持性能に係る基本方針(O2-工-B-19-0001\_改2)(令和3年1月13日提出資料)
- (3) 補足-600-1【地盤の支持性能について】(O2-補-E-19-0600-1\_改5)(令和3年1月13日提出資料)
- (4) VI-2-1-1-別添1 地下水位低下設備の設計方針(O2-工-B-19-0054\_改0)(令和3年1月13日提出資料)
- (5) 補足-600-25-1【地下水位低下設備の設計方針に係る補足説明資料】(O2-補-E-19-0600-25-1\_改0)(令和3年1月13日提出資料)

- (6) 地下水位低下設備に係る設置変更許可申請書との比較表 (O2-他-F-19-0009\_\_改0) (令和3年1月13日提出資料)
- (7) 女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表 (耐震評価: 原子炉本体基礎の復元力特性) (O2-他-F-19-0010\_\_改0)
- (8) 女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表 (耐震評価: 使用済燃料ラックの減衰定数) (O2-他-F-19-0014\_\_改0)
- (9) VI-2-3-1 原子炉本体の耐震性についての計算結果 (O2-エ-B-02-0005\_\_改0)
- (10) VI-2-3-2 炉心、原子炉圧力容器及び原子炉内部構造物並びに原子炉格納容器及び原子炉本体の基礎の地震応答計算書 (O2-エ-B-02-0006\_\_改0)
- (11) VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラック (第1、2号機供用) の耐震性についての計算書 (O2-エ-B-02-0007\_\_改0)
- (12) 補足-600-8-1 建屋-機器連成解析モデルの時刻歴応答解析における材料物性の不確かさ等を考慮した設計用地震力の設定について (O2-補-E-19-0600-8-1\_\_改0)
- (13) 補足-600-13 【使用済燃料貯蔵ラックの減衰定数について】 (O2-補-E-19-0600-13\_\_改0)

以上